

科目名 Course Name	公衆衛生学 Public Health			ナンバリング No.	L4-001		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	岡村 幸重						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室						
必修/選択	選択(栄養士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>栄養士指定科目に係る「社会・環境と健康」という学問体系の中で、栄養士が地域、職域、学校などで公衆栄養活動を行うための基礎となる科目である。本教科は社会医学とも言われ、人間集団に関わるものを対象とした学問を、我が国の社会制度とともに学習していく。</p> <p>①栄養士資格を取得するうえで必要となる条件である「公衆衛生学」に関連する領域を解説することができるようにする。</p> <p>②国民の健康状態、疾病の測定、生活習慣の現状と対策及び改善策などを分かりやすい言葉で具体的に解説することができるようにする。</p> <p>③主要な疾患の疫学と予防、保健統計、保健制度、関連法規等の実際を正確に解説することができるようにする。</p>						
授業の方法	必須事項の板書、資料提示(紙媒体、プロジェクター提示等)を基本として授業を行う。適宜ディスカッションを行う。重要資料は適宜に配布する。ミニッツペーパーを実施する。						
学習成果	L01						
	L02	①栄養士資格を取得するうえで必要となる条件である「公衆衛生学」に関連する領域を解説することができる。					
	L03	②国民の健康状態、疾病の測定、生活習慣の現状と対策及び改善策などを分かりやすい言葉で具体的に解説することができる。					
	L04	③主要な疾患の疫学と予防、保健統計、保健制度、関連法規等の実際を正確に解説することができる。					
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを入れ、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	別途指示する。試験は指定教科書より出題されるので必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	管理栄養士資格の受験資格の基礎であり、栄養士資格の指定科目であることを踏まえて授業に臨むこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:医師、職歴通算 29 年)医師の立場で疾病と生活習慣の関連性等を講義する						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義に集中し、必要な項目を整理して独自のノートとしてまとめる。さらに積極的に講義内容に対して参加する。集中して講義に参加しないものは評価が低い(C=60 評価)。		20		
レポート/作品	求められた課題を理解し、講義内容や参考書等を利用してまとめる。目的・内容をしっかり理解し、積極的に参加する(S=90 評価)。意見を述べている(参考資料を示す)(A=80 評価)。		10		
発表					
小テスト					
試験	① 全出題項目が理解できている(S=90 評価)。②重要な出題項目が理解できている(A=80 評価)。③基本的な問題が理解できて			70	

	いる (B=70 評価) ④基本的な問題の理解が乏しい (C=60 評価)			
その他				
合 計			30	70

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス(授業目標と評価)、公衆衛生学序論(公衆衛生・予防医学の概念と意義)
	事前・事後学習	公衆衛生と栄養士の仕事の関連性を調べる
2	授業内容	公衆衛生・予防医学の歴史、保健統計の意義と概要(人口静態統計、人口動態統計)
	事前・事後学習	人口静態統計、人口動態統計の違いを確認する
3	授業内容	生命表、疾病統計、その他の保健統計
	事前・事後学習	疾病統計について調べる
4	授業内容	健康状態・疾病の測定と評価(疫学の概要、易学的手法とその解釈)
	事前・事後学習	健康の概念を調べる
5	授業内容	健康状態・疾病の測定と評価(EBM、リスク分析と管理)
	事前・事後学習	疾病の概念を調べる
6	授業内容	生活習慣病(がん・心疾患・脳血管疾患)
	事前・事後学習	生活習慣病と食事の関連性を調べる
7	授業内容	生活習慣病(1.高血圧・糖尿病・高脂血症・痛風・骨粗鬆症等)
	事前・事後学習	高血圧・糖尿病の食生活の留意点を調べる
8	授業内容	生活習慣病(2.高血圧・糖尿病・高脂血症・痛風・骨粗鬆症等)
	事前・事後学習	高脂血症・痛風・骨粗鬆症の食生活の留意点を調べる
9	授業内容	母子保健(母子保健の現状と対策、行政政策)
	事前・事後学習	母子保健の現状と対策の部分の教科書を読んでおく
10	授業内容	学校保健(学校保健の現状と対策)
	事前・事後学習	学校保健の現状と対策の部分の教科書を読んでおく
11	授業内容	産業保健(産業保健の現状と対策)
	事前・事後学習	産業保健の現状と対策の部分の教科書を読んでおく
12	授業内容	老人保健・福祉(高齢者保健の現状と対策)
	事前・事後学習	高齢者保健の現状と対策の部分の教科書を読んでおく
13	授業内容	精神保健及びその概要・現状
	事前・事後学習	精神保健及びその概要・現状の部分の教科書を読んでおく
14	授業内容	13回までのまとめとディスカッション(試験内容について解説も行う)
	事前・事後学習	13回の授業を通して再度、公衆衛生と栄養士の仕事の関連性を考えてまとめる
15	授業内容	保健医療制度と法規(衛生法規と行政、医療保障制度、国際保健医療)(講義項目全体のまとめを含む)
	事前・事後学習	公衆衛生に関連する法規を調べる、試験対策